

検討委員会設置に至った経緯について

1 将来計画への位置づけ

- 県立病院の建替整備については、「新県立病院改革プラン」（兵庫県病院局、平成 29 年 3 月）や、その上位計画にあたる「第 3 次病院構造改革推進方策」（兵庫県病院局、平成 29 年 3 月（改定））、「最終 2 カ年行財政構造改革推進方策」（兵庫県、平成 29 年 3 月）において、「県民に対し良質な医療を提供していくためには、高度専門医療等の医療機能の充実や施設の老朽化、狭隘化等への対応が必要であることから、経営状況及び一般会計の負担を踏まえつつ、計画的な建替整備等を行う。」とされている。
- 兵庫県立がんセンターについては、これらの計画において、「がん医療の充実・普及などがんセンターを取り巻く環境や現在地周辺の埋蔵文化財試掘調査結果を踏まえ、建替整備方針を決定する。」とされている。

2 現地建替の是非と埋蔵文化財試掘調査結果

(1) 現地建替の是非

- 兵庫県内の各医療圏域においては、都道府県型のがん診療連携拠点病院のほか、地域がん診療連携拠点病院が 1 カ所程度整備され、医療圏域毎に一定のがん医療が提供される仕組みがあり、兵庫県立がんセンターは、現在、県内唯一の都道府県型のがん診療連携拠点病院であり、同時に東播磨医療圏域の地域がん診療連携拠点病院の側面も持ち合わせている。
- 現在地は、新病院を整備する場合でも、十分な面積の確保、大規模災害への対応、公共交通機関等によるアクセスなどの面で大きな課題はないが、弥生時代から中世の集落跡などが埋蔵されている土地、いわゆる周知の埋蔵文化財包蔵地である北王子遺跡の範囲内に位置している。
- 埋蔵文化財は、現状のままで土の中で保存・保護されるべきものとされているが、該当地で開発事業が計画された場合、文化財保護法に基づき、教育委員会等において、埋蔵文化財を正確に把握し、その内容や価値に応じて適切に保存・活用することが求められる。
- これらのことを踏まえ、まず現地建替の可否を確認するため、兵庫県病院局において平成 28 年度に埋蔵文化財試掘調査（約 450 m²）を行った。

(2) 埋蔵文化財試掘調査結果

調査の結果、弥生時代後期及び平安時代後期～鎌倉時代の集落跡が確認されたが、保存の措置が必要となる重要な遺構は見当たらない旨の報告であった（技術的に現地建替は可能）。

なお、建設工事着手前には、工事により損壊あるいは影響を受ける埋蔵文化財の分布状況の記録と出土品の保存を目的とした本発掘調査を、兵庫県教育委員会に委託して行う必要がある。

3 検討委員会の設置

上記を踏まえ、平成 29 年度に外部有識者等を中心とした「兵庫県立がんセンターのあり方検討委員会」を設置することとされた。

【参考資料】 ○試掘調査地点（別紙）

試掘調査地点



神戸西テニスコート

明石川

Google

兵庫県中央こども
家庭センター

兵庫県立大学
明石キャンパス

兵庫県立がんセンター敷地
(旧明石西公園分41,732㎡)

13

試掘調査地点

Google

山輝会高齢
者総合
福祉施設

ウェルフェア
グランデ明石
アネックス館

玉津町吉田

兵庫県立がんセンター敷地
(現病院分31,914㎡)

兵庫県立がんセンター

駐車場

王子1丁目緑地

王子クリニック

マンション
セレクト

1 中西第三
マンション
セルサス
大道式番館

2

13

12

ローソン
北王子

大衆食堂
サカ工屋

地図データ©2014 Google, ZENRIN

関西ハイソ

シャーマゾン
北王子A棟

3

環境
ター

シャーマゾン
大道